

腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられる患者様へ

入院診療計画書（患者用パス）

疾患名

病棟(病室)

(号室)

患者氏名

様

主治医

主治医以外の担当者

特別な栄養管理の必要性

有

・

無

サイン

月日	/	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院日（手術前日）	手術当日（手術前）	手術当日（手術中）	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術後4日目	手術後5日目
症状								
達成目標	手術について理解し同意している	手術・麻酔に対して不安が軽減し落ち着いている		血圧が安定している 創痛がコントロールできる	合併症を起こさず経過する 創痛がコントロールでき歩行できる 食事が3割以上摂取できる	食事が5割以上摂取できる	食事が7割以上摂取できる	
活動・安静度	制限はありません			ベッド上で安静にしておいてください	制限はありません			
食事	手術2時間前まで飲水可	朝から絶飲食になります			朝から水分摂取できます 昼から食事(5分粥)が夕から食事（全粥）が始まります	朝から食事(常食)が始まります		
内服・点滴	現在内服中の薬は入院後看護師にお渡し下さい お調べします	朝、必要な薬があれば飲んでいただきます 点滴を行います			点滴を手術後1日目の朝まで行います			
清潔・排泄	入浴できます			尿の管が入っています	身体を拭きます 尿の管を抜きます トイレに行くことができます	洗髪ができます 全身シャワー浴をすることができます		
検査					血液検査をします エックス線検査をします			
処置	寝る前に下剤を飲みます 腹部の除毛と臍の処置を行います	弾性ストッキングを装着します	フットポンプを装着します 尿道にカテーテルを留置します 胃管は手術中のみ入れます		尿の管を抜去します 弾性ストッキングを外します お腹に入った管を抜きます 適宜術後ガーゼ交換をします フットポンプを外します			
観察	適宜お腹の状態を観察します			頻回に血圧・体温やお腹の状態をみます	適宜血圧・体温やお腹の状態をみます			
リハビリ					必要があればリハビリを行います 退院に向けて体力向上や歩行練習をします			
教育・説明・指導	担当医が入院診療計画、手術について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 手術室の看護師の訪問があります			手術後、 担当医がご家族に手術の経過について説明いたします	退院時に担当医からお話があります 退院後の生活について 少しずつ手術前の生活に戻してください 創が腫れたり、発赤が増強するときは外来を受診してください 重い荷物を抱えたり、かんだりすることは控えてください			
退院後の治療計画								退院後外来受診があります
退院後の治療上の注意点								創部の腫れや発熱に注意しましょう
その他療養計画	☒ 安全を確保するため、やむを得ない場合に身体的拘束を行います ＜看護＞							

- ・ 診療内容等は現時点で考えられるもので、今後の検査等を進めていくにしたがって変化する場合もあります。その場合は再度説明いたします。
- ・ 入院期間については、現時点で予想されるものです。

説明日

説明者